

都市施設関連資料

令和4年11月9日

1. 今回の都市施設の検討事項

先月、北海道新幹線倶知安駅舎を設計する事業者がＪＲ九州コンサルタンツに決定。

都市施設の基本設計を同事業者に依頼し、駅舎と一体感のある都市施設を予定。

そこで今回、以下の内容について検討を行い、都市施設の内容を確定したい。

①トイレのおおよその面積

②物販機能の２階へつづく階段の形状と場所

２階の飲食機能スペース及び一時滞在機能スペースの有効利用

③吹き抜け空間の有無（ゆとりスペースの確保）

1. 都市施設の配置イメージ ※前回までの案

- ▲ : 動線上、整備の必要性が高い出入口
- ▲ : 利便性を高めるために必要な出入口

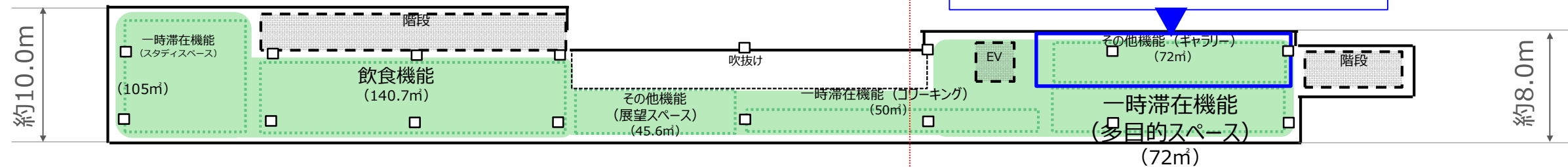
<屋上> ※積雪期以外で利用することを想定

駅前通りの道路中心線



<2F> ※2Fにもトイレ機能の配置を検討

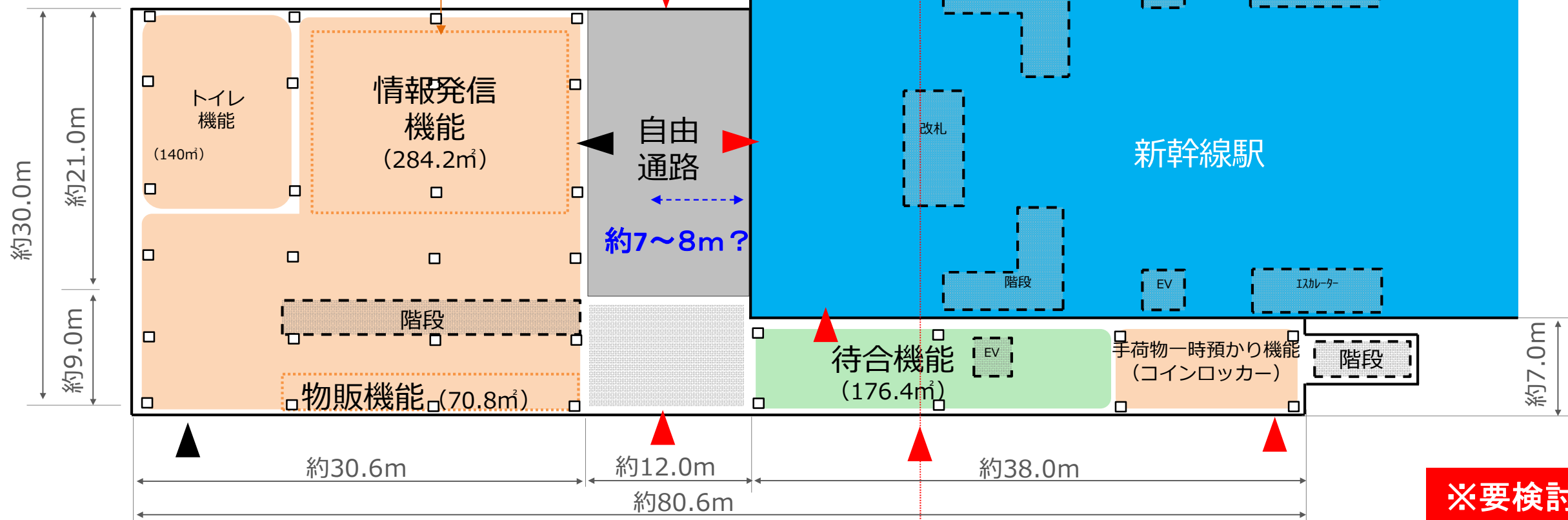
鉄道施設のギャラリー展示



2F : 総床面積
(633.2㎡)

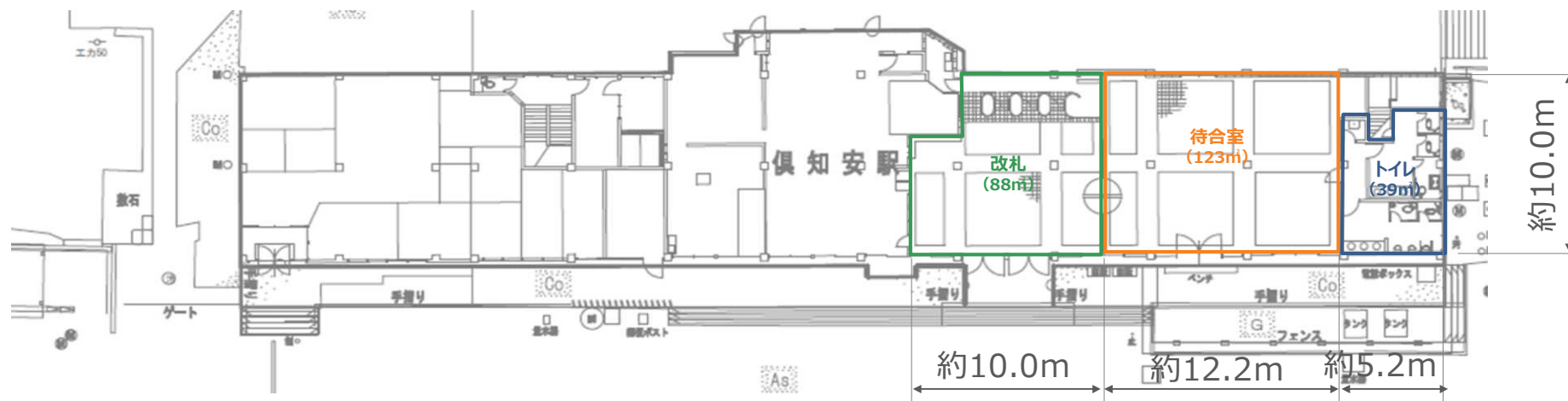
<1F>

※手荷物一時預かり機能
(クローカー) 含む



1F : 高架下の総床面積
(642.6㎡)
1F : 町整備の総床面積
(677.4㎡)

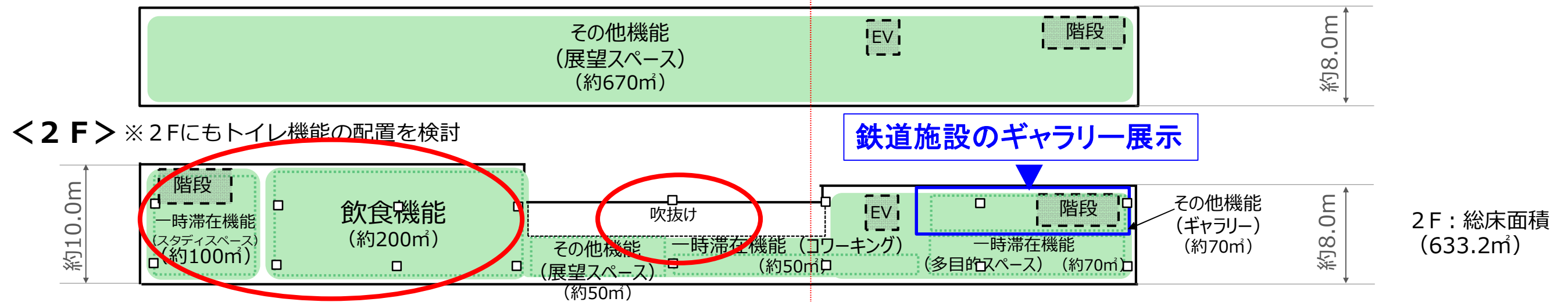
※要検討: 駐輪場の位置



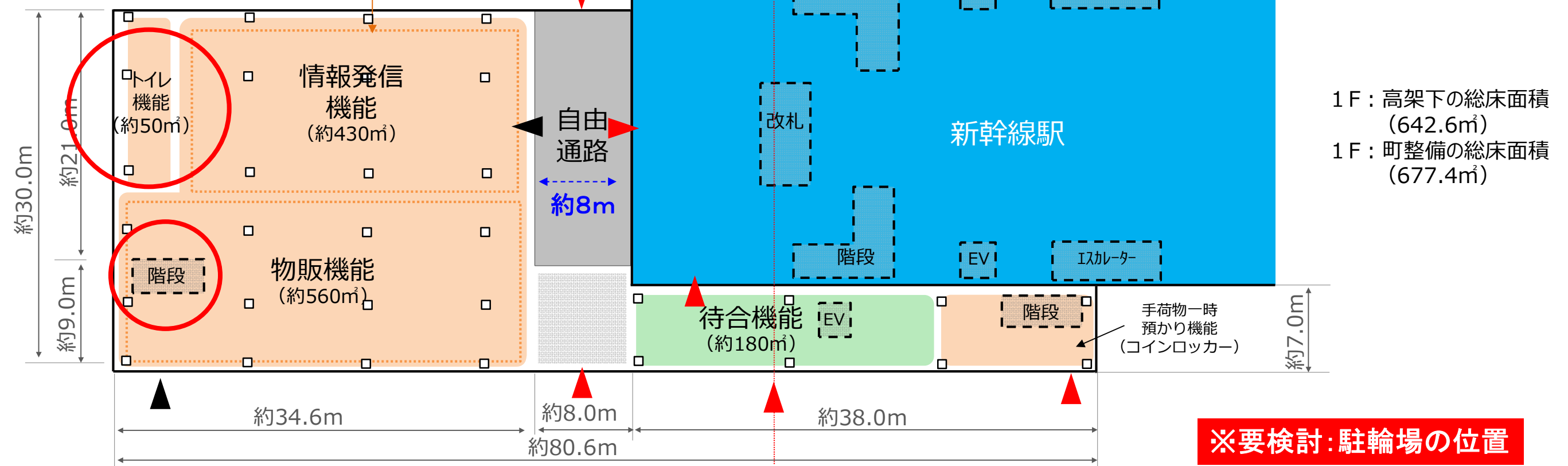
※駅の内部レイアウトは概略検討状況であり、今後関係者と協議調整していく予定 (昇降設備と改札向き以外は、未確定)

▲:動線上、整備の必要性が高い出入口
▲:利便性を高めるために必要な出入口

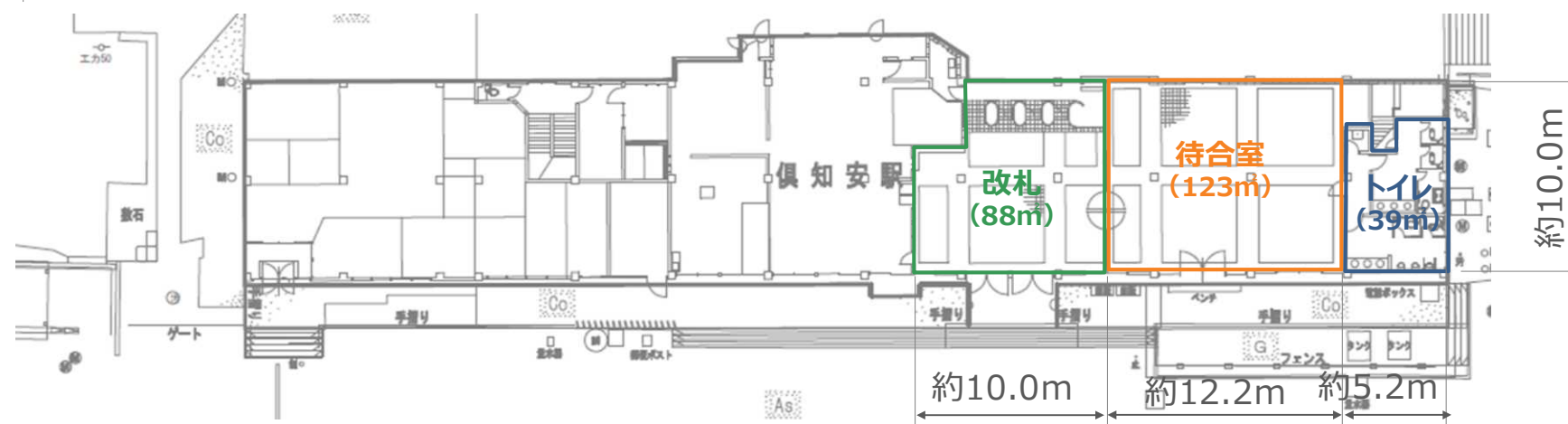
駅前通りの道路中心線



※手荷物一時預かり機能
(クローク) 含む



※要検討：駐輪場の位置

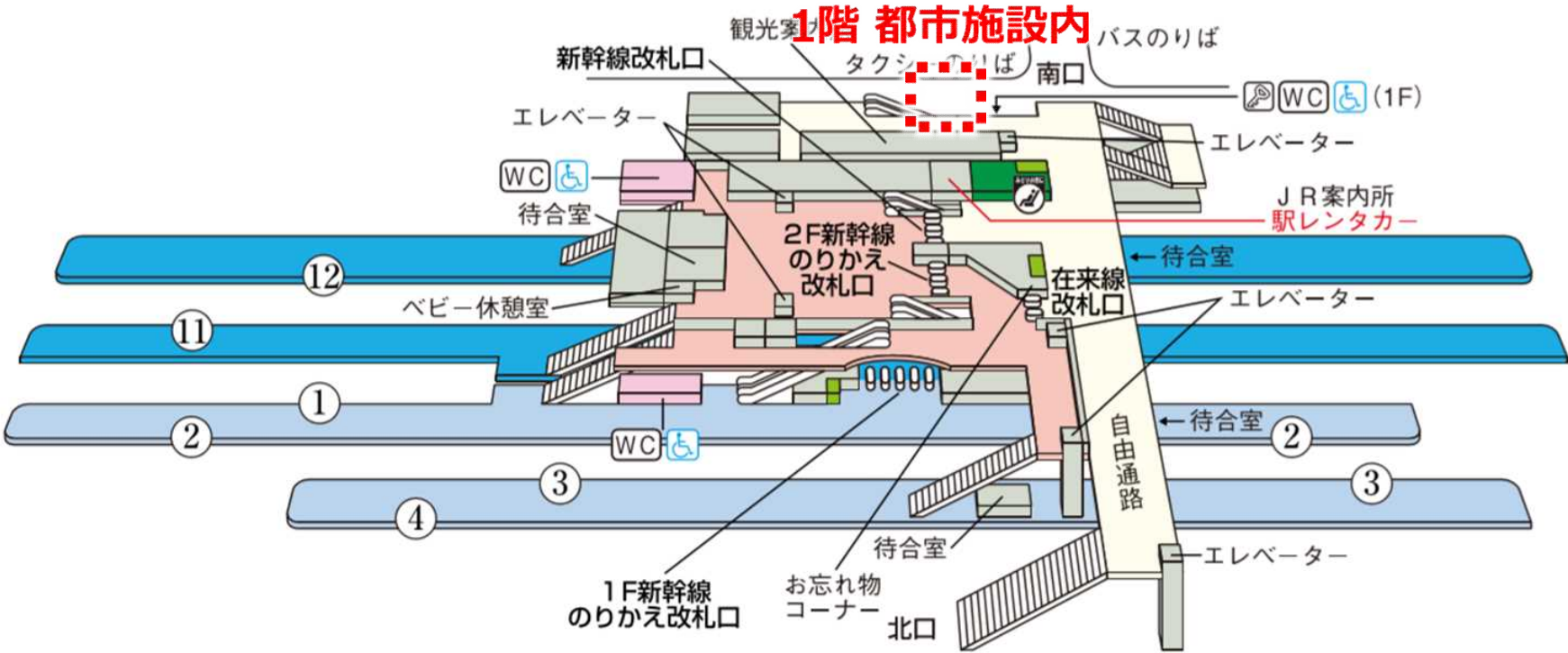


※駅の内部レイアウトは概略検討状況であり、今後関係者と協議調整していく予定（昇降設備と改札向き以外は、未確定）

2. 荷物を持った旅行者に配慮したトイレの事例

新函館北斗駅（北海道新幹線）

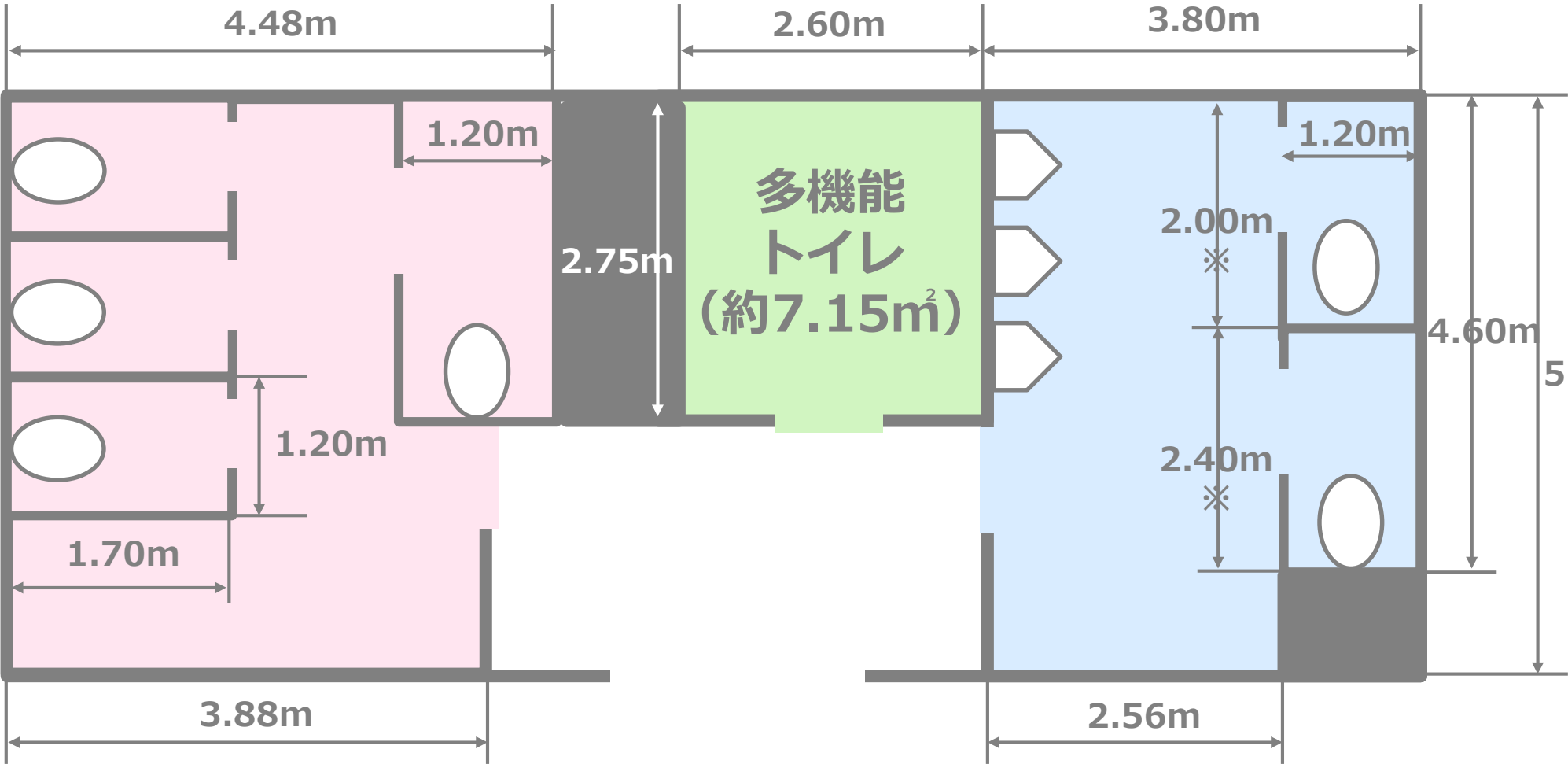
・新函館北斗駅におけるトイレの設置位置と基数、面積は以下のとおり。



1階 都市施設のトイレ
男：大2、小3
女：大4
多機能：1

女子トイレ
(約22.8㎡)

男子トイレ
(約19.7㎡)



総面積
(色付き部分)
約49.7㎡

※寸法は、壁の厚さなどを考慮しないおよその数値を記載しているため、加算した場合に合致しない場合がある。

2. 荷物を持った旅行者に配慮したトイレの事例

（参考）北海道・東北新幹線等の主な駅におけるトイレの設置状況

・北海道・東北新幹線の主な駅におけるトイレの設置位置と基数は下表のとおり。

	トイレ（新幹線駅舎内）	
	改札内	改札外
新函館北斗駅	1箇所 （男（大3・小5）女（大4）多機能1）	1箇所（北斗市） （男（大2・小3）女（大4）多機能1）
木古内駅	—	1箇所 （男（大2・小2）女（大2）多機能1）
奥津軽いまべつ駅	—	1箇所 （男（大2・小2）女（大2）多機能1）
七戸十和田駅	—	1箇所 （男（大2・小2）女（大2）多機能1）
飯山駅	—	1箇所 （男（大2・小4）女（大5）多機能1）



（出典：JR TT資料）

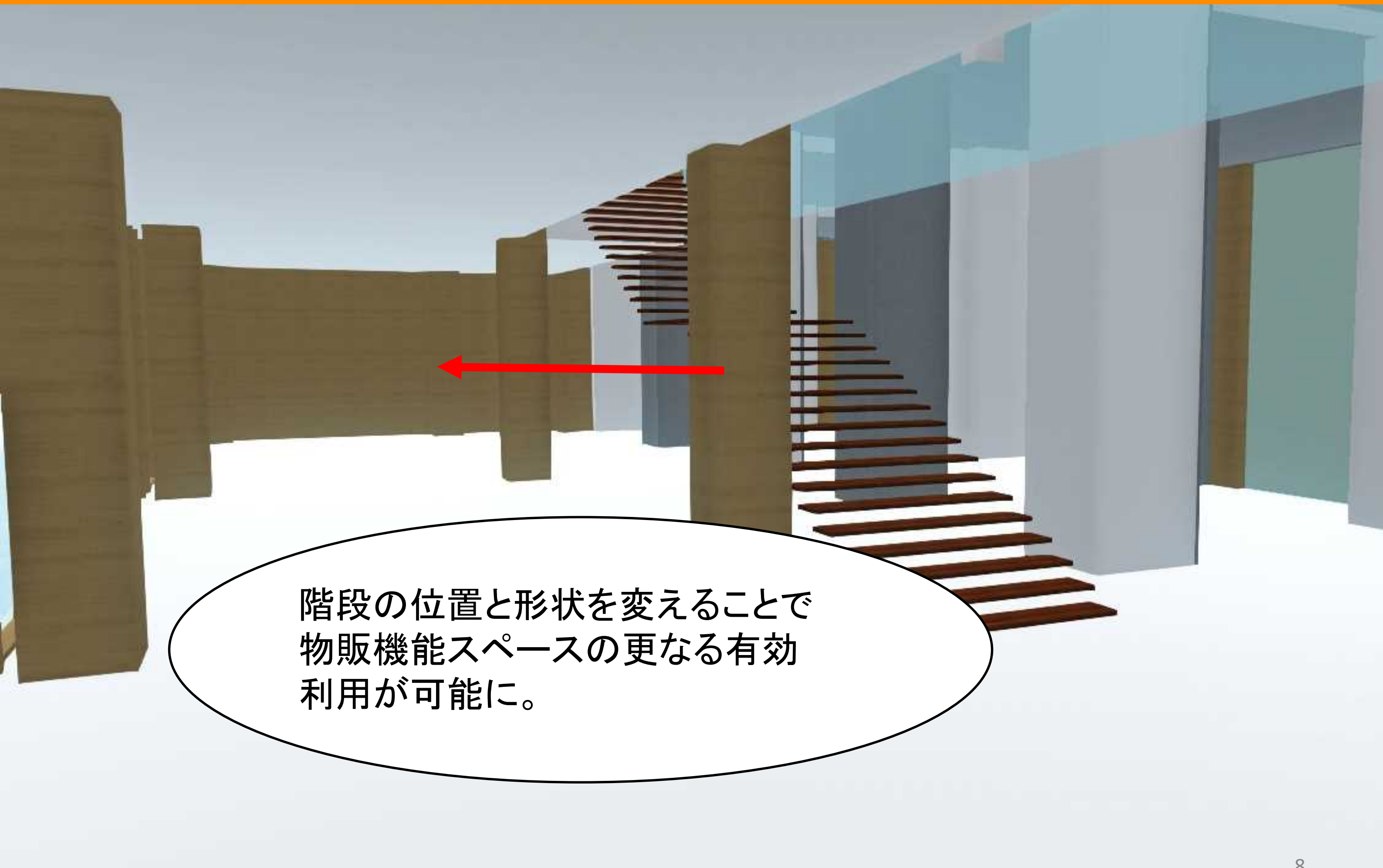
女子トイレ（木古内駅）



（出典：JR TT資料）

女子トイレ、パウダールーム
（新函館北斗駅）

3. 物販機能の2階へつづく階段の形状と場所

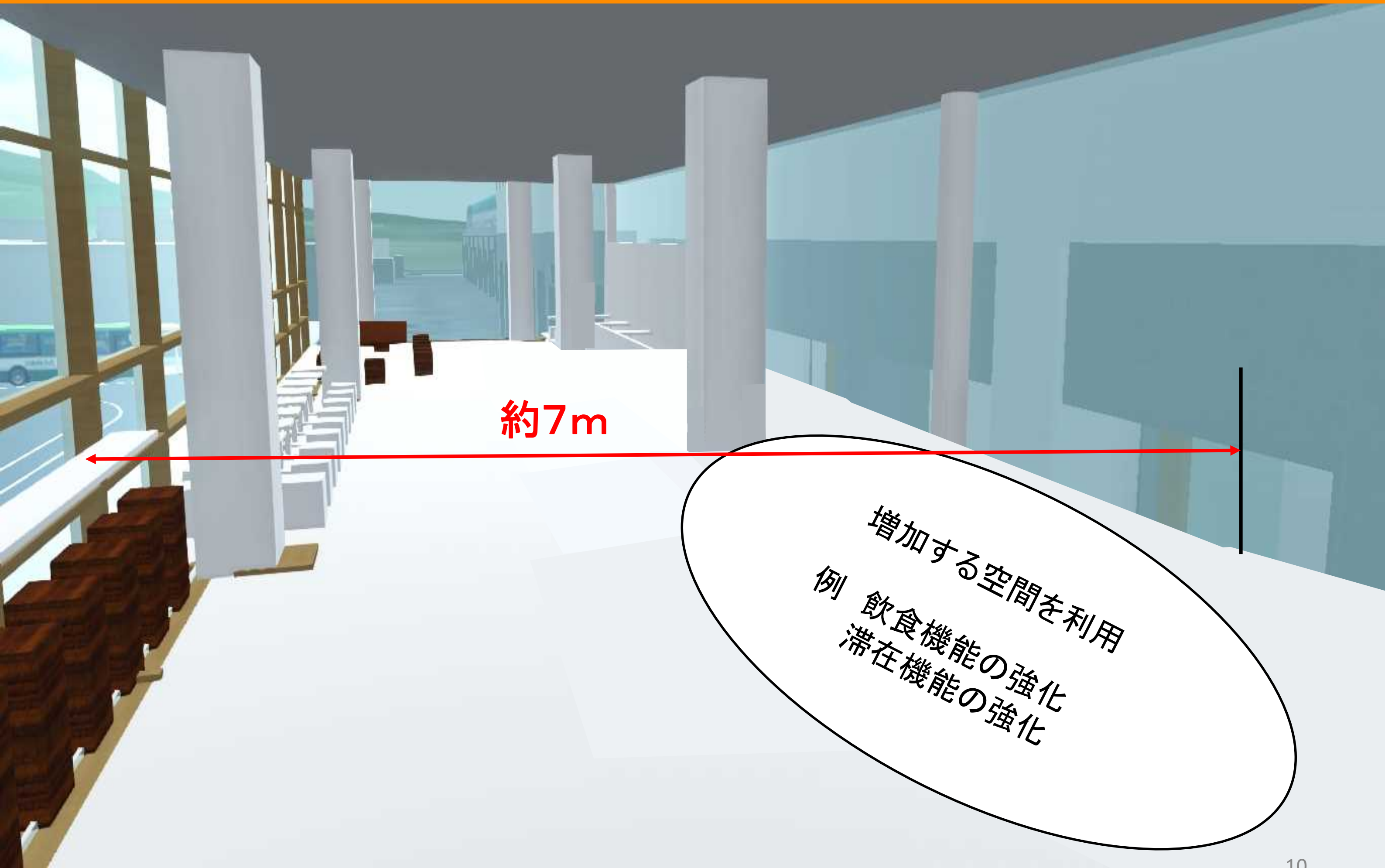


階段の位置と形状を変えることで
物販機能スペースの更なる有効
利用が可能に。

3. 物販機能の2階へつづく階段の形状と場所（飲食機能スペースの強化）



3. 物販機能の2階へつづく階段の形状と場所（飲食機能スペースの強化）



4. 吹き抜け空間の有無（展望スペースや一時滞在機能の強化）



4. 吹き抜け空間の有無（展望スペースや一時滞在機能の強化）

吹き抜け空間について
展望スペース・一時滞在機能スペースの確保（ゆとりのある空間）